

令和 7 年度

寄宿舎のしおり



北海道函館養護学校 寄宿舎

〒 042-0916 函館市旭岡町 2 番地

Tel 0138-50-5001 (寄宿舎直通)

ホームページ <http://hakodateyougo.hokkaido-c.ed.jp/>

目 次

1	寄宿舎の指導支援	2 ページ
2	帰省・帰舎について	3 ページ
3	諸経費	3 ページ
4	健康衛生	4 ページ
5	緊急時の対応	5 ページ
6	寄宿舎の一日（日課表）	6 ページ
7	主な行事	7 ページ
8	持ち物	7 ～ 8 ページ
9	お薬について	9 ～ 10 ページ

用語について

舎生（しゃせい）……寄宿舎を利用している児童・生徒
室担（しつたん）……舎室担当、寄宿舎の舎室（おへや）担当職員
帰省（きせい）……家庭に帰ることで、帰宅と同じ意味で使用
帰舎（きしゃ）……寄宿舎に来ること
単独帰省（たんどくきせい）……舎生がひとりで帰省すること
舎友会（しゃゆうかい）……寄宿舎生の自治活動組織、学校でいう生徒会

寄宿舎は、学校教育法に基づいて設置され、遠隔地に居住する児童、生徒の通学を保障する役割を担っています。

【指導支援について】

- (1) 寄宿舎では日常生活及び集団生活における経験の拡大を図りながら、個別の指導計画を作成し一人一人の自立や社会参加に向けて支援しています。適切な計画の作成と評価を行うため、年に4回の保護者懇談を予定しています。詳しい日程や内容については別紙にてご案内しますのでご協力をお願いします。

【職員の体制】

- (1) 寄宿舎指導員は早出・日勤・宿直の3交代、寄宿舎指導員（非常勤）は夜間（20：20～8：20）の時間帯で勤務し指導、支援を行います。3交代勤務のため室担不在の場合もありますが、勤務している他の職員が対応します。
- (2) 舎監（しゃかん）として教諭が2名配属され、学部や学級担任とのパイプ役を担い、寄宿舎の運営にかかわります。
- (3) 看護師は常駐していませんが、登校日の8：30～17：00の時間帯で健康状態の確認や相談などの対応をしています。

2

帰省・帰舎について

土・日・祝日などの学校休業日は、ご家庭にて気持ちや体のリフレッシュを図ることができる時間です。安定した学校・寄宿舎生活を過ごすためにも、週末等の学校休業日の帰省にご理解とご協力をお願いします。

- (1) 帰省・帰舎予定を 1 か月前に確認します。通院や家庭の都合などに伴う予定をお知らせください。予定に変更が生じた場合は、6 日前までに連絡をいただくと食費の算出に間に合います。
- (2) 帰省日は、下校時刻にあわせたお迎えをお願いします。お迎え時間に変更がある場合は事前にお知らせください。
- (3) 福祉サービスを利用して帰省・帰舎する場合や保護者以外の方が送迎する場合は、必ず事前にお知らせください。確認できていない場合は、引き渡しできません。
- (4) 登校日前日（日曜日・祝日など）に帰舎を希望する場合は、事前に室担にご相談ください。
- (5) 単独帰省・帰舎を希望する場合は事前練習など準備が必要です。詳しくは室担にご相談ください。
- (6) 新年度及び新学期の始業式当日は朝 8 時から、荷物の受け入れ等、利用が可能です。

3

諸経費

※ 諸経費は、事務からの請求、口座引き落としとなります。

- (1) 1 食当たりの食費は下記の通りです。
【朝食】小学部 300 円、中高等部 320 円
【昼食】小学部 330 円、中学部 390 円、高等部 400 円
【夕食】小学部 450 円、中高等部 480 円
- (2) 舎友会費（各行事などに使用）として、年額 1,800 円を予定しています。

寄宿舍生活を楽しく安全に送るためには、健康管理が大切です。健康状態等について情報の提供と、集団生活における感染症等のまん延を防ぐ対応に、ご理解とご協力をお願いします。

- (1) 体調の変化やけがが生じた場合は、状況により、お迎えをお願いすることがあります。
- (2) 通院は原則保護者にてお願いします。通院時の検査や治療、予防接種で副反応が予想される場合等、体調の変化が予想される場合は、自宅で経過観察をお願いします。通院後は通院結果を寄宿舍にお知らせください。
- (3) つめ切り・顔そり等は、家庭でお願いします。電動シェーバーの持ち込み、使用については室担までご相談ください。
- (4) 毎日の水分補給の飲み物を持参ください。衛生管理上、1回及び1日で飲み切れるサイズの物をご用意ください。
- (5) 栄養摂取や服薬補助の理由で補助食品を使用する場合は、「**【資料Ⅰ】健康管理のための食品類の預かりについて（依頼）**」の届け出が必要です。
- (6) 学校保健安全法に定められている学校感染症に罹患した場合は、出席停止の期間を満了し、寄宿舍での宿泊が可能な体力が回復してから帰舎してください。感染症については、「**【資料Ⅴ】学校において予防すべき感染症の種類と出席停止について**」をご確認ください。
- (7) 嘔吐や下痢の症状がある場合、ノロウイルス感染等を想定した対応をします。嘔吐物や排泄物で汚れた衣類は大きな感染源となり、洗濯を行うことで感染拡大に至ることも懸念されます。そのため、適切な処理を行ってから、衣類などはビニール袋に入れて密封します。ご家庭への持ち帰りをお願いします。また、汚物を処理する際の消毒には、塩素系漂白剤を使用します。消毒液による衣類の変色が予想されることも、ご了承ください。

【けが、急病の場合】

- (1) 保護者の来舎まで長時間かかる場合、もしくは連絡がすぐにとれなかった場合は、相談の上タクシー等の利用（料金は保護者負担）で通院の対応をする場合があります。
- (2) 救急車の要請が必要と思われる場合、保護者に連絡の上救急車を要請し、搬送の対応をします。

【災害の場合】

- (1) 自然災害等で寄宿舍や地域が被災もしくは被災する可能性がある場合は、できるだけ早急に、状況の報告やその後の対応について、電話や一斉メールにて連絡します。

【災害時の備蓄品、災害時バッグについて】

災害時に個人備蓄として最低限の必要な物品・非常食を常備し、災害時にはすぐに、持ち出しができるよう、災害時バッグとして保管しています。
まとめて持ち運べるように、袋・リュックなどに入れてご用意ください。

- (1) 食料＝3食分（舎生の実態にあった非常食。加熱などの必要がない物。）
- (2) 水＝500ml×4本
- (3) 服薬時の補助食品（ゼリー、オブラートなど必要な舎生のみ）
- (4) 防災用の帽子（厚手のニットなど地震時の避難用）

※上記物品を年2回ほど消費期限の確認をさせていただきます。

6

寄宿舎の一日（日課表）

6:30	起床・洗面・着替え										
7:35	朝の会・日直当番活動（舎友会）										
7:45	朝 食										
8:40	歯磨き・登校準備										
9:10	登 校										
（下校時間） ※曜日・学年によって異なります 13:30 ○ 14:25 ◆ 15:10 □	下 校										
	【高等部・中学部】					【小学部】					
	月	火	水	木	金		月	火	水	木	金
	□	□	◆	□	◆	1.2年	○	○	◆	○	◆
						3年	○	□			
					4.5.6年				□		
	うがい・手洗い										
	自由時間入浴(火・木)・シャワー浴										
16:30	食事配膳当番活動（舎友会）										
17:00	夕 食										
18:30	自由時間入浴(火・木)・シャワー浴 水分補給・就寝準備・翌日の準備など										
20:00～21:00	就 寝										

7

主 な 行 事

	1 学 期	2 学 期	3 学 期
行 事 名	歓迎会 こどもの日の集い 七夕会	お楽しみ会 クリスマス会	節分会 卒業を祝う会
	避難訓練 (オリエンテーション) 火災避難訓練 夜間避難訓練	地震避難訓練 (オリエンテーション) 地震避難訓練	

8

持 ち 物

※ 持ち物すべてに記名の徹底をお願いします。

【衣類・寝具】

- (1) 気候・季節等に合わせて入れ替えをしてください。
- (2) 各学期末には衣類・寝具類の持ち帰りをお願いします。その際には記名やサイズなどの確認をしてください。
- (3) 各学期末に、福祉作業所が行う「布団クリーニングのご案内」をしています。ご希望の方はご利用ください。

【余暇で使用するもの】

- (1) 本・玩具・ゲーム機・音楽機器などの持ち込みは可能です。紛失や破損の責任は負いかねますので、高価な物をご遠慮ください。
- (2) 携帯電話・スマートフォンなどの通信機器は持ち込めません。

【必要な日用品】

寝具類	【必要数】
布団（掛け・敷き）、枕、マット	各 1
布団カバー、枕カバー	各 2
シーツ、タオルケット	各 2
毛布（冬季）	1
パジャマ	3

衣類・他	【参考数】
上衣（トレーナー、Tシャツ類）＊	5
下衣（ズボン、ハーフパンツ類）＊	5
下着類、靴下	各 5
上着（ジャンパー類）	1
上靴（サンダルも可）	1

洗面・入浴道具	【必要数】
かごもしくは洗面器 （入浴用・洗面用）	1～2
歯ブラシ	3
歯磨き用コップ、歯磨き粉	各 1
水切りトレイ（小）＊	1
シャンプー・リンス・ボディソープ	各 1
シャンプー類予備（詰め替え）	各 1
ボディタオル	1
バスタオル	2～3
ハンドタオル	3～5
ペーパータオル （歯ブラシの水分ふき取り用）	1

その他・消耗品等	【必要数】
衣類・洗濯物入れ用かご	2
洗濯用洗剤類	各 1
洗濯用洗剤類予備（詰め替え）	各 1
ボックスティッシュペーパー	3
マスク ＊	各々に 応じて
手指消毒用品 ＊	
食食用エプロン	
専用食具 （高温での殺菌消毒に耐えられるもの）	
紙おむつ	
おしりふき ＊	
使い捨て手袋 ＊	
生理用品	
汚物用ビニール袋 ＊	

※上記以外にも、舎室担当者から日用品などのご依頼をさせていただく場合がございます。

＊印は就学奨励費の対象外です。詳しくは事務からの【就学奨励費のしおり】を参考にしてください。

※ 学校より配付される【学校における薬の取り扱い】を必ずご参照ください。

- (1) 病院で診察・処方された薬のみお預かりします。薬剤情報と「【資料Ⅱ・Ⅲ】薬の使用依頼書（定期薬）（臨時薬）」の届けが必要です。必ず薬と一緒に持参してください。
- (2) 登校してから下校までの間に必要な時間の薬は、毎朝の登校時に寄宿舍から直接学級担任に渡します。
学校へ直接登校する場合は、保護者の方から直接学級担任へ渡してください。
- (3) 発作等の緊急時の薬を常備する場合は、「【資料Ⅳ】薬の預かり依頼書（緊急時の対応薬）」の届け出が必要です。
- (4) 薬の受け渡しは必ず職員に直接渡してください。お手数ですが職員と一緒に、名前・日時・必要な日数・種類・個数の不足等、間違いがないか、再確認をしてください。

【薬の準備方法】

■■準備するもの■■

- (1) 薬ファイル（寄宿舍で用意）



- (2) 帰舎日から帰省日までの薬



- (3) チャック付透明小袋



- (4) B4サイズファスナー付き透明ポーチ（個人で用意）



粉薬・錠剤

- ①小袋に氏名・日付・時間（朝・昼・夕食後、食前、19:00 など）、薬品名を明記する。
（薬に印字がある場合は不要）
- ②1回に服用する薬（錠剤・粉）を全部、小袋に入れる。
- ③ファイルの右面に、小袋を縦に服用時間ごと、日付順にセロテープやマスキングテープで貼る。
- ④ファイルを開き左面に、予備薬2日分を貼る。



- ⑤透明ポーチにファイルを入れる。
（小袋が剥がれ落ちて紛失することを防ぐため）



水薬

- ・薬の容器に名前（フルネーム）、服薬時間、服用量が記入してあることを確認。
- ・服薬するための容器、その他服用に必要な物に記名。
- ・予備薬として、2日分を上記同様に別容器に用意して持参。

坐薬

- ・1回分ずつ日付・名前を記入。
- ・予備薬を上記同様に用意して持参。

軟膏・点眼薬

- ・薬に名前を記入。
- ・小袋に名前・薬名・使用時間を記入し、薬を入れる。